9月23日～24日　仙台弁護士会館

第30回 全国市民オンブズマン 仙台大会を開催

仙台市民オンブズマン事務局長
弁　護　士　**石　上　雄　介**

1　本年９月２３日・２４日に、仙台にて全国市民オンブズマン連絡会議の全国大会が開催されました。仙台市民オンブズマン事務局長として開催準備に当たりました私から、全大会の様子などをご報告させていただきます。

まず初めに、お陰様で全国大会を無事開催することができました。大会の運営にご協力くださいましたオンブズマンタイアップメンバー、オンブズマンメンバーの方々には改めて深く御礼申し上げます。

2　今年の全国市民オンブズマン大会は３０回目の節目の記念大会として、かつて官官接待、カラ出張等の問題を取り上げ、情報公開請求にかかる住民運動の震源地となりました仙台で開催することとなりました。

全国のオンブズマンメンバーから７０名強のオンブズマンメンバーが仙台に集まり、またウェブを通じた参加でも５０名強のオンブズマンメンバーが参加しました。久しぶりに全国のオンブズマンメンバーの顔を見ることができ、皆さん変わらずお元気そうでしたが、各地の世代交代が進んでいない状況もうかがえ、今後の全国のオンブズマン活動の課題も明らかになりました。

3　さて今回の全国大会のメインテーマは「ＤＸって何だ？退化する情報公開」と設定されました。

全体会において、各地方自治体におい

オンブズマン

No.54 ／2023年12月20日（水）

発行　仙台市民オンブズマン
仙台市民オンブズマンタイアップグループ
〈事務局〉　仙台市青葉区中央4-3-28 朝市ビル4F
宮城地域自治研究所内
TEL（022）227－9900　FAX（022）227－3267
http://sendai-ombuds.net/
e-mail:s-ombuds@nifty.com

て、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）によって情報公開の運用はどのように変化しているのかについて調査検討されました。全国市民オンブズマン連絡会議事務局の調査報告によれば、ＤＸの推進によって情報公開の利便性が向上したとまでは評価できず、かえってＤＸの推進を契機として利用者に手数料を課してコスト負担をさせる実態が明らかになりました。そこで全国大会においては、ＤＸによって情報公開の権利性を高められるように全国各地のオンブズマンが地方自治体を監視していくことを決議しました。

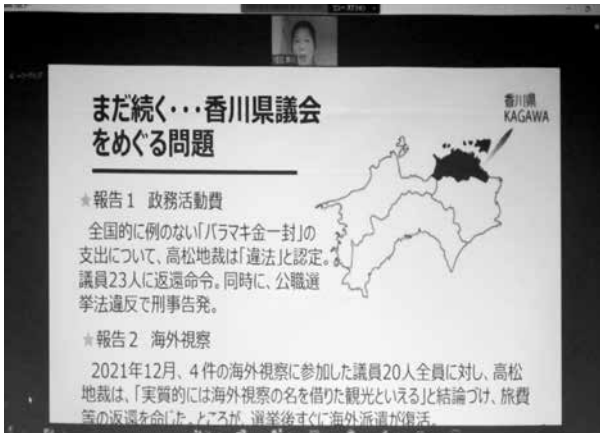
４　また仙台からの地域報告として、仙台市民オンブズマン有志メンバーが勝ち取った岩沼市議会出席停止処分取消事件の最高裁判所判決について、十河先生と原告の大友健議員からお話しいただきました。判決の内容が報告されるとともに、地方議会における多数派による濫用的懲罰がなされている市議会の実態が報告され、全国各地の地方議会議員に対し多数決の濫用に立ち向かっていくことが呼びかけられました。

５　以上のようなテーマの議論のほか、全国大会では３０回を記念して小野寺信一先生他オンブズマン創設以来のメンバーで座談会が開催されました。情報公開によって事

実を明らかにすることそのものの楽しさ、仲間と一緒に活動することの楽しさがオンブズマン活動の原点であることなどのお話がなされました。

仲間と一緒に美味しいものを飲み食いしながら、次は何をやってやろう、相手の弱点はどこだろう、などと謀議しているときは、それ自体が楽しいのはもちろん、新しい自由な発想がどんどん出てきて普段の思考の幅が広がります。

全国各地のオンブズマンでは、若手メンバーの加入が進まないことが大きな課題となっていますが、幸い仙台市民オンブズマンでは継続的に新規の若手メンバーに加入していただいています。先輩方から受け継いだオンブズマン活動の楽しさをしっかり後輩にも伝え、仙台におけるオンブズマン活動を持続していきたいと思います。



分科会
政務活動費

「まだまだ問題が多い政務活動費支出の実態」の報告

仙台市民オンブズマン
弁　護　士　栄　田　国　良

「第３０回全国市民オンブズマン仙台大会２０２３」の分科会「まだまだ問題が多い政務活動費支出の実態」（以下、政務活動費分科会といいます。）に参加いたしましたので、ご報告いたします。

全国の市民オンブズマンは、市民のために、政務活動費の違法な支出を巡って法廷闘争を繰り広げ、多大な成果を勝ち取ってきたものと存じます。

他方で、法廷闘争には、多大なる労力、及び時間を費やします。また、法廷闘争で争点となるのは支出が違法か否かであり、適切な調査研究の支出か否か、すなわち、市民に還元されるかたちで活用していただいたか否かが争点となるわけでは必ずしもありません。政務活動費分科会では、このような問題意識から、法廷闘争を行わずに政務活動費の支出の実態を変えることはできないかについて、愛知の新海聡弁護士が、議員が法的な問題と言うよりも政治的な問題として考えている、議員の仕事の仕方を市民が観察し、議員に質問する、（良いと）評価する等により、訴訟以外の方法で政務活動費の支出の実態を変えられないか等と述べられていました。

当初、新海聡弁護士と岡山の光成卓明弁護士が主として発言されていましたが、仙台の吉岡和弘弁護士と宇部雄介弁護士や、参加された全国からの出席者から意見が述べられるようになり、議論が白熱しました。

結論としては、引き続き検討することになったと思いますので、私自身も、皆様と一緒に考えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

分科会
情報公開・保護

情報公開・個人情報保護分科会の報告

仙台市民オンブズマン
弁　護　士　佐　藤　　哲

第３０回全国市民オンブズマン仙台大会２０２３分科会「情報公開・個人情報保護学習会」についてご報告します。

まず、森田明弁護士および土橋実弁護士による基調報告が行われ、その後、各地の情報公開事例の報告が行われました。

基調報告においては、改正個人情報保護法施行にともない、各自治体の個人情報保護条例は、国の施策との整合性に配慮することが求められることになり、新たに制定された条

例に独自性はみられず、法の「施行条例」的な性質のものになっていること、データ流出の抑制に重きが置かれていること等が報告されました。

事例報告においては、医療ミスや学校内の事故の事例において、カルテや議事録について公開を求めても不開示の情報が多く、公開請求のみで不正を暴くのは難しいという実態が報告されました。また、情報公開の頁数に応じて手数料を負担させられるといった運用をしている自治体もみられ、情報公開制度の趣旨を没却するのではないかとの疑義が呈されました。

今後の方針としては、公開の実績を積み上げること、ないし成果事例の他自治体への波及を狙うこと等により情報公開制度の実質化を図ることが挙げられました。

分科会
マイナ保険証

マイナ保険証の一本化で日本はどうなるの

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ　中　田　美智子

東京の清水弁護士の司会、宮城県保険医協会の今田隆一先生の講演は会場の会議室があふれるほどでした。関心の高さが伺えました。

私はマイナンバーカードを取得していません。自分の身辺が丸裸にされ監視されるような不愉快さがあるからです。

任意取得であるはずのマイナンバーカードと「国民皆保険制度」として自治体がおこなっている国民健康保険証を一つにする政策は権利と義務がひっくり返っていて憲法25条にも反することとの指摘がありました。運用については医療現場の窓口での混乱が種々報道されています。カードの本人写真認証で視覚障害者の目の様子について言われていますが、会場の参加者からは矯正歯科の治療では治療の経過毎に顔の輪郭変わるので写真認証ではじかれることが懸念されるとの発言がありました。

電子カルテシステムからマイナ保険証に至る医療のデジタル化は政界・財界のヘルスケアシステム構築という戦略に乗せられて進んでいるようです。そのことの吟味も必要ですが、今問題なのはこれまで当たり前に自治体から送られてきた保険証が使えない、マイナ保険証でないと医療が受けられないということです。「マイナ保険証は任意取得、今までの保険証は存続させるべき」そのことを確認した分科会でした。

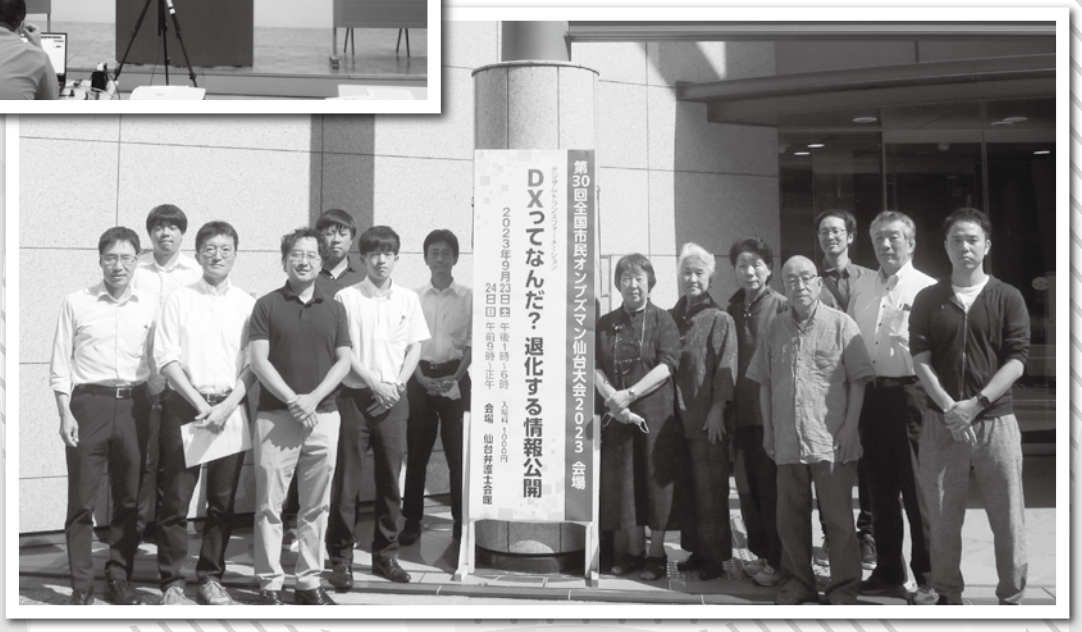
第30回 全国オンブズマン大会に参加して

河　村　直　人

仙台市民オンブズマンを辞めて７年目になる私は久しぶりに全国大会に参加しました。コロナ過の３年間を過ぎ懇親会も中止してきましたが、今回懇親会も開催されました。１日目は全体会と懇親会、２日目は３分科会が開催されました。現地参加が７５名、ネット参加が７０名でした。仙台市民オンブズマンは、若手が受付、会場設営、司会進行等に大活躍でした。

１９９３年仙台市民オンブズマン発足式に先進地の大阪、京都、名古屋の市民オンブズマンが参加し、全国市民オンブズマン連絡会議の結成が決議され、翌年第１回全国市民オンブズマン仙台大会が開催されました。私は仙台の発足から参加しておりその後の全国大会にも参加していました。官官接待、カラ出張、情報公開等問題が山積していましたが、今大会は政務活動費がメインでした。公費支出はだいぶ正常化してきているように思われました。全国のオンブズマンは懐かしいお顔が多く、世代交代がうまく機能していないように見えました。全国連絡会議の事務局費も枯渇しているようで、今後の継続に少し不安になりました。

第30回 全国市民オンブズマン仙台大会 2023
DXってなんだ？ 退化する情報公開


第30回全国市民オンブズマン仙台大会2023 会場
DXってなんだ？ 退化する情報公開
2023年9月23日(土) 午後1時～6時
24日(日) 午前9時～正午
入場料 1,000円
会場 仙台弁護士会館

オンブズマン支援企画に思う

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ
泉　田　元　子

私がタイアップに会員になりオンブズマン支援企画イベントに関わりはじめたのは、2004年からで会場は仙台市青年文化センターだった。

熊谷和則氏の切れのあるタップダンスに魅了されたのはもちろんのこと、宮城三女OG合唱団（当時）の歌声に引き込まれ、会場を埋め尽くす観客の数に驚いた。

当時、支援企画の観客数は500名を優に超える年もあったという。あれから19年がたち、今年の観客数はなんと200名を割り込んでしまったようだ。

タイアップグループ会員もご多分にもれず高齢化が進んでおり、当然のことながら夜の外出などが困難になっているという声もある。

オンブズマンの活動をもっと多くの方に知っていただきたい、今と違う支援方法はないものなのか?

来年のことを思うと非常に悩ましい。

12月5日、タイアップ中田会長からオンブズマン石上事務局長に支援金が手渡されました

ジャズピアニスト
岡本 優子

落語家
春風亭 与いち

2023.10.25支援企画vol.23
アンケート結果

1　今日のステージはいかがでしたか？

1. とてもよかった	45 人
2. 良かった	14 人
3. 普通	2 人
4. もの足りなかった	1 人
5. その他	0 人

2　次回以降どんな内容の企画を希望されますか？

落　語	22 人	ギター	12 人
ヴァイオリン	20 人	漫　才	11 人
シャンソン	16 人	民族音楽	9 人
ジャズ	15 人	邦　楽	5 人
ピアノ	15 人	声　楽	5 人
ゴスペル	13 人	手　品	5 人

3　本日の支援企画やオンブズマン及びオンブズマンタイアップグループの活動について、ご意見・ご要望がありましたらお書きください

- オンブズマンタイアップグループの活動内容がよく分かりません。何らかの形で紹介しては
- 「市民オンブズマン」の名前を今回の行事を通じて初めて知りました。私はわりと市民活動にいろいろと関わってきましたが、こちらの内容共に存じ上げませんでした。これから何かと見守って参りたいと思います。

タイアップ会長あいさつ

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ会長
中　田　美智子

タイアップグループ結成30回の総会を開催し、今年も仙台市民オンブズマン支援企画を決定しました。23回となる支援企画は宮城県出身のお二人、ジャズピアニスト岡本優子さん（気仙沼市）、落語家春風亭与いちさん（仙台市）のステージでした。アメリカで活躍してきた岡本さんは自らピアノを弾き東日本大震災後、ふるさと気仙沼を歌った「SWEET HOME」など8曲を披露、心に染み入る歌声でした。与いちさんはベニーランドの出囃子で登場、周辺の話題をコミカルに話した後、本格的な落語で時間が延長する熱演でした。わが宮城県が生んだ将来が大いに期待されるお二人を迎えた素晴らしい企画となりました。１３０名ほどの来場者も岡本さんにアンコールを求め、与いちさんには笑いと拍手で盛り上がりました。皆様のご協力で今回は１０万円の支援金をお渡しすることができました。

30年ともなるとタイアップグループ会員自身も外出を控える年齢になり、チケットの販売が年々減少しているのが現状です。仙台市民オンブズマンとタイアップグループの活動を知らしめるための支援企画です。これからはもっと工夫が必要と考えています。

来年も皆様とご一緒に楽しい活動が出来ることを願っています。

タイアップグループの会員を増やしてください !!

タイアップ会員を増やす取り組みをおこなっています。

ご友人、ご家族、依頼者や取引先など、お知り合いに声を掛け、まず1人お誘いいただけないでしょうか。お誘い用のリーフがあります。宜しくお願いします。

2024年
２月例会＆新年会のご案内

タイアップグループの２月例会は新年会も兼ねて開催します。楽しく美味しい料理を囲みながら新年を慶びあいたいと思います。

お料理・飲み物など差し入れは大歓迎です。ぜひご参加ください。

2024年2月6日（火）18:00～
朝市ビル4階　宮城地域自治研究所

▶タイアップ2024年例会予定
- **4月例会は、4月2日（火）**
- **6月例会は、6月4日（火）の予定です**

いずれも18:00～
会員の皆様の参加をお待ちしています

会員のご紹介と会費納入のお願い

■今期の会費が未納の方、お手数でも払い込み下さい。（振込用紙同封しました）。会員拡大はタイアップ活動のエネルギーの源です。会員・賛助会員それぞれ紹介チラシもありますのでご請求下さい。

会費納入先
七十七銀行本店（普通）　６５３００１０
郵便局振込　０２２９０－６－８０５０
仙台市民オンブズマン・タイアップグループ

仙台市民オンブズマン　タイアップグループ会則

（1）加入資格：仙台市民オンブズマンの活動の趣旨に賛同し、支援する意志のある個人。
（2）会　　費：年10,000円・賛助会員年3,000円
但し、協賛金については、自由に受け付け、緊急時の支援費用に充当する。
（3）活動内容：年２回の会報の発行。臨時の会報は必要に応じて随時発行する。
市民の為の公開講座などを開催する。
その他の事業の企画、実施。
（4）総　　会：年１回とし、オンブズマンの総会に準じて開催する。
（5）役　　員：会　長　　１名、　副会長　　若干名
会　計　　１名、　会計監事　　２名
（6）役員会：必要に応じて開催する。
（7）事務局：事務局の所在地は当面、青葉区中央4-3-28 朝市ビル4階とする。
（8）会計について：年会費からの支援金および協賛金からの特別拠出金については、役員会において決定の上、支出する。以上の拠出金、特別拠出金の会計処理内容については、総会の際にオンブズマン事務局より報告を受けるものとする。